

1. 開催年月日 平成 26 年 5 月 16 日 (金) 13 時 30 分～15 時 30 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 多目的ホール B
3. 出席委員数 6 名 (欠席 2 名)
4. 事業者側出席者数 2 名
5. 議 題 1. 番組試聴および審議
2. 通常番組について
6. 審議内容

1. 番組試聴および審議

次の番組について試聴し、審議を行った。

4 月 24 日 (木) 8:20～

坂祝町提供「さかほぎ なう！」(収録)

ナビゲーター：小栗かおる

- ・シナリオ読みは少し聞きづらいので、自然に「わがふるさと」を紹介できるよう番組構成を工夫すると良いのではないか。
- ・坂祝という町について、放送エリアの人たちはある程度知っている。そのうえで、新しい魅力を発信していくためにはどうしたらよいか。
- ・美濃加茂サテライトを参考にすると、「生放送をやっている」というアピールができると思う。地元から発信というアナウンスができると、存続意識を持ってもらえる。身近に暮らしていてもわからない話があって興味深く、内容を新鮮に聴いた。発信し続けることに意識を持っていなければならないと改めて感じた。
- ・八百津町や七宗町からも「私たちがアピールしてほしい」という声が波及していくといいと思う。

5 月 7 日 (水) 13:05～

富加町提供「学芸員島田が語る～とみかの rara デビュー～」

パーソナリティ：富加町教育委員会 学芸員 島田崇正

アシスタント：シキナユキコ

- ・面白いと思った。近くに住んでいても富加町の歴史は知らないし、単調になりやすいテーマを楽しく説明している印象を受けた。しゃべり口調もかしこまっていないところが親しみやすく、奇を衒っていない感じで好印象だった。

- ・打合せ不足の印象を受ける。また、主張と現在の富加町との関連が全くないと、訴えたいことや歴史を語る意義が見えてこない。シリーズ物なので、打合せをして、ポイントを絞り、メリハリを持たせる構成やまとめが必要。

5月15日（金）17:00～

「えりちゃんのバン格拉・ポチョンドコリ」

メールリポーター：安藤恵理子

- ・日本とバン格拉デシュの違いが頭にすっと入ってくる。話し方が聞きやすい。
- ・このコーナーがどのように紹介されて、どう展開されているのかが重要。先日聴いた放送では、コーナーの後で内容へのコメントが一言しかなかった。リスナーへの配慮と、番組全体のポリシーが必要。

2. 通常番組について

- ・旬の素材を我が家ではこのように料理しているなど、素朴な話があると興味深く番組に入っていけるのではないか。地元では当たり前ということも、紹介することでふるさと意識を共有できたらいいと感じた。

以上の意見が出され、全員承知した。